

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2022年（令和4年）3月2日

川路の江戸後期の教育レベルは、大変高かったということを皆さんご存知でしたか？その様にお聞きしたので、早速川路村史で調べてみました。川路には10校もの寺子屋があり、100名から130名の大勢の子供達が筆子（生徒）として勉強していたようです。特に百華園の寺子屋は親子2代で100年近く続いており、明治4年に開校した川路小学校は、百華園の寺子屋からスタートしたそうです。

百華園2代目の師匠関島良至さんは、ご存知の関島松泉さんのことで、「天龍峡」を世に出すことにご尽力いただいた方です。晩年の髭を生やしたお顔が天龍峡再生館2階に飾ってあります。

川路小学校開校時の生徒数は151名ですが、そうすると川路のほとんどの子供が小学校制度スタート前に、寺子屋で勉強していたこととなります。教える師匠の皆さんも教育レベルの高い方が揃っており、地域全体が教育に熱心であったことを誇りに思わなくてはなりません。又その教育に熱心な風土は今も引き継がれており、小学生の「通学合宿」の実行委員会の皆さんや、公民館の歴史ある「夏期大学」、教育育成委員会の「子ども育成事業」を担当する役員の方々の熱心な活動につながっていると思います。コロナで各種行事が少なくなってしまうしておりますが、教育熱心であった川路の先祖のことを今一度認識し、川路の子供達が健全に育って行けるように、まちづくり委員会も頑張っ

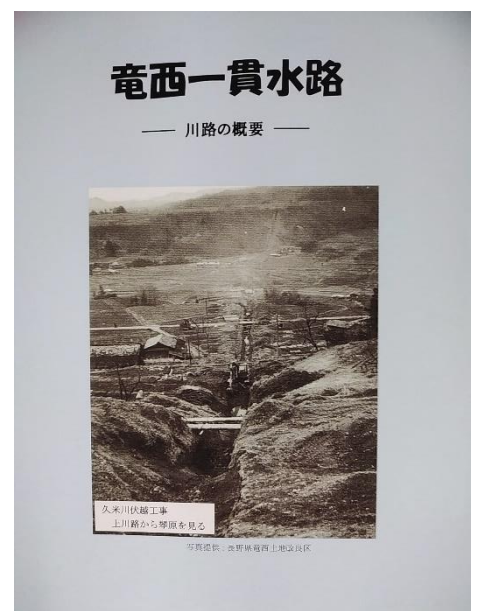
師匠名	屋号	場所	開設時期	筆子(生徒)数
関島良基	百華園	四区中平	1783年	20-30名
関島良至	百華園	四区中平	1833年	20-30名
榎本宗琳	榎本	四区中平	不明	不明
熊谷六右衛門	竹岡	八区原	1848年	30-40名
牧内新三郎	大野	七区大野平	1850年	10名
平田貢一	岩本	二区古寺	1837年	12-13名
塩澤太郎	金田	六区金田	1830年代	10名
塩澤吉郎	あらや	六区	1867年	10名
森本源太郎		五区殿村	1867年	5-6名
久保田九十郎	久保田	一区島	1867年	5-6名
堀春宗	正清寺	二区古寺	1876年	

江戸後期から明治初期の川路の寺子屋状況

### 竜西一貫水路の歴史をまとめてくれました

川路の田畑を潤している「竜西一貫水路」はどこから来ているかご存知ですか？昨年の美和ダム見学の際、中川村にある南方発電所の放流水が源である事を知りました。そんな事実を勉強した矢先、八区二タ井の清水勝弘さんが、この「竜西一貫水路」に興味を持たれ、川路地区を中心に独自で調査を進め、一冊の冊子にまとめてくれました。右の冊子の表紙の写真をご覧ください。

上川路方面から久米川の下に穴を掘り、逆サイフォン方式で三区の琴原方面に水路を作っているときの貴重な写真です。「竜西一貫水路」は昭和23年に着工し、総延長24kmの一大灌漑用水は昭和44年3月に完成したそうですが、当時は重機は無く、全て手掘りで進めたそうです。24kmの落差は僅か22m。そこを逆サイフォン8カ所を寸分の狂い無く仕上げた当時の苦労を、川路地区を中心にまとめてあります。冊子は川路図書館と振興センターにありますので、是非一度ご覧ください。



清水勝弘さん著作「竜西一貫水路」

## 天竜川のしゅんせつ（河床掘削）が盛んに行われております

天竜川と久米川の合流地点上流で、今盛んに土砂のしゅんせつ作業が行われております。今年の計画は、久米川との合流地点上流部で3万m<sup>3</sup>、下流のかわらんべ河川敷付近で2万m<sup>3</sup>の計画です。最近のしゅんせつ量は3万m<sup>3</sup>の年が続いておりましたので、飯田市の取り組みは評価出来る内容ですが、阿智川との合流点付近のしゅんせつが取り付け道路の損壊で棚上げになっております。今年度中にはなんとか修理の上、再開を計画してくれておりますが、しっかり見守りたいと思います。昨年まちづくり委員会の研修で、美和ダムを視察しましたが、平成28年に土砂バイパストンネルが完成し、美和ダムの洪水調整能力は改善されましたと説明がありました。しかし、土砂バイパストンネルにより、全ての土砂が川路方面に流れてくることを意味する大変重要な内容であり、今まで以上に川路地区及び阿智川合流地点でのしゅんせつが重要になってきます。川路まちづくり委員会も水防組合と協力して、このしゅんせつ作業をしっかりとフォローして参ります。



久米川合流地点上流のしゅんせつ作業

## 川路の企業の求人情報

皆さん「お知らせ版かわじ3月号」をご覧顶きましたか？2件の川路の企業の求人情報が載っています。昨年川路の企業にアンケートをお願いし、川路の住民の採用状況を調べさせて頂きました。結果は残念ながら、あまり多くの川路の方の採用はありませんでした。しかし、まちづくり委員会のこうしたアクションが今回の情報提供と繋がりました。地元企業に勤めるメリットは大きなものがあります。是非情報を活用して頂き、就労のチャンスをものにして頂きたいと思ひます。



## 菜の花畑の整備が進みました

昨年9月に竜峡中学校の生徒の皆さんにも協力して頂き、かわらんべ河川敷に菜の花の種をまきましたが、沢山芽が出て育っている場所もあれば、砂地の為全く芽が出ていない場所もあります。2月26日川路菜の花愛護会の皆さんとシニア大学41期の皆さんにより、砂地の部分に混んで密集している部分から移植をして頂きました。総勢12人参加して頂き、各人約70本、合計約800本移植が出来ました。一生懸命種をまいてくれました竜峡中学の生徒さんも、これでがっかりすること無く菜の花を楽しんで頂けると思ひます。又翌日27日には、環境保全委員会主催の草刈り作業がありました。今年はコロナのため、まちづくり役員だけの参加に押さえましたが、約40人参加して頂き、菜の花畑の廻りの草等を綺麗に刈って頂きました。後は4月の開花まで順調に苗が育つのを待つのみです。



砂地に菜の花の苗を移植する愛護会の皆さん



かわらんべ河川敷の草刈りをするまちづくり役員